

## なんだ・かんだ

### ◆ 「利他」について ◆

「利他」とは、自分のことよりも他人の利益を大事にすること。「利己」と反対語。

現在日本では、親が子供を殺し、子が親を殺すような、「尊属殺人」が新聞やニュースで良く見られます。統計がないようで、実際に増えているかどうかは分かりませんが、事実として、親が子育てを放棄し、子供を餓死させたり、せっかんや暴力により殺してしまったり、注意されて気に入らなかつたという理由だけで、バットや刃物で自分を育ててくれた親を殺してしまう様な事件が毎年何件も発生しています。

先日、日経トップリーダーの講演で日本の「家制度」が戦後アメリカにより廃止させられた為に、「自分さえ良ければよい。自分が一番大事」という利己主義的な人間が増えてしまった。と言う説を述べている元検事という方が話をしていました。

戦前まで日本は、儒教思想の為か「家」が一番大事で、長男が「かまどの灰まで」相続すると言われていました。家を守るために親族一同必死になる。そして、日本を守るために敵の戦艦へ特攻していく。自分より家であり国であったのです。

黒船来港以来の江戸幕府瓦解までの過程における、尊皇攘夷・開国・佐幕に働いた人々もそれぞれが自分の命を天皇・日本国・幕府に捧げ、活動し死んで行った訳です。

戦後の日本の教育は、「個」を大切に教育です。自由を大切に、親や子供よりも「自分」を一番大切に、自由に生きることを教えてきました。

従って、現代に生きる我々は他人のために生きるという事がなかなか理解できないようです。私もそうですが、こんな事を口にするのは何処か恥ずかしいし、意識しないと考えられないし、行動に移すことが出来ません。そして、他人の立場に立って物事を考えると言うことがとても苦手です。

流行の経営書には、CS・お客様満足・お客様第一主義・ES・従業員満足等々の言葉が並びます。いずれも自分以外の人の満足を考えない。重要視しないと言っています。今、ことさらにこの日本人が苦手になってしまった「利他」の精神が問われているのです。

私もことある毎に社員に「お客様第一」「相手の立場になって考えて行動するように」と話をしています。しかし、こういう教育を受けていないからこれが難しいのです。いつか自分中心になってしまいます。どうしたらこの「利他」の精神が身につくのか。

先日静岡県警に営業に行った際、我々と商談を終えた警部が先に事務所へ向い歩いている途中で、我々が乗るべきエレベーターのスイッチを何気なく押してそのまま事務所へ入って行きました。我々のためにエレベーターを呼んでおいてくれたのです。これにはちょっと感激しました。ことさら「利他」の行動を叫ぶのではなく、日々の暮らしの中で、この行動を実践していくことが大切なのだと思います。当社では今後も「利他」の精神を大切にしていきたいと思えます。



### ■ インフルエンザ ■

国立感染症研究所でインフルエンザ患者が増加していると発表しています。今は、季節性のA香港型が主流だそうですが、新型のインフルエンザに感染している患者さんもあるそうです。例年は12月中旬頃から全国的な流行が始まるということで、厚生労働省では早めのワクチン接種を呼びかけています。

当社では2年前に全社の1/3に当たる10人近い社員がインフルエンザで会社を休むという事態が発生したことがあり、昨年から会社で補助金を出して、社員本人とその家族に予防接種を受けるようにしてもらっています。

ワクチン接種だけでなく、外出先から帰った際の手洗いやうがい等の基本的な感染予防の徹底も重要です。

十一月も終わろうとしていますが、昼間は暖かい日が続いています。朝晩はだいぶ寒くなってきましたが、それでも10℃を下回る日は稀です。昨年のこの時期は「さざんか梅雨」で長雨が続いていましたが、今年は晴れの日が多く工事工程も順調に進んでおります。

一転日本の政治・経済はすっきりしない長雨が続いています。城山三郎氏の小説で「男子の本懐」という小説があります。第一次世界大戦後優性的な不況を脱する為に、多くの困難を克服し「金解禁」を断行した浜口雄幸首相と井上準之助蔵相の物語です。金解禁は、軍部を含め聖域を設けない、極端な緊縮財政を引き、民間にも痛みを伴う中で断行されましたが、結果二人とも暗殺されてしまうことになりました。浜口首相は打たれた苦痛の中で、国のために撃たれて死ぬのは「男子の本懐である。」と言ったそうです。

菅首相は幕末の志士、長州の高杉晋作に傾倒していると聞いています。高杉晋作も国を憂い倒幕に命を賭けた偉人です。是非首相にも命を賭して国のために「男子の本懐」を遂げてもらいたいと思います。

代表取締役 服部 徹一郎

男子の本懐

### 社員動向

#### ● 復職(遠藤都機恵) ●

昨年9月から出産及び育児休暇のためお休みを頂いておりました遠藤都機恵が、11月16日から復職いたしました。

遠藤は休暇前には当社総務部と営業部の一部を担当しておりましたが、復職後は総務部の専任となります。営業部の方は、これまで1年間遠藤の代わりに担当をしてきました見村がそのまま継続して担当させていただくこととなります。担当させていただいておりますお客様におかれましては、引き続き宜しくお願い申し上げます。では遠藤から一言。

約1年お休みをいただき、育児に専念する事ができました。皆様の理解と御協力のおかげだと思い感謝しています。

次女は1歳1カ月になり、毎日保育園に通っています。仕事を再開することになり、初めは寂しい気持ちでいっぱいでしたが、保育園の園庭で笑いながら走ったり、砂場で楽しく遊んでいると聞いて、安心して仕事をさせてもらっています。

まだ幼少の為、突然熱を出したりして仕事に遅刻や欠勤をすることで皆様にも御迷惑をおかけすることもありますが、よろしく願い申し上げます。



本レターのご提供に付きまして、ご不要・ご迷惑という方に付きましては、その旨ご一報頂きたいと思えます。次回からの発送を中止させていただきます。

・ 株式会社チキリ  
静岡県駿東郡清水町卸団地 73

Tel 055-971-9610 Fax 055-973-1534

E-mail gen@chikiri.com URL http://www.chikiri.com/